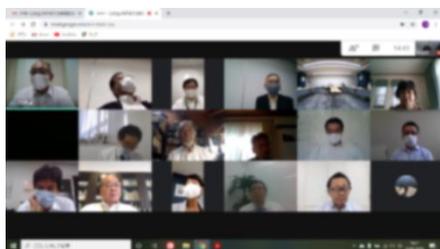


2020年度 定時評議員会を開催しました

2020年10月1日(木)東京都生協連会館会議室において、Google Meet による WEB 会議の方式を用いて「2020年度 定時評議員会」を開催し、以下の第1号議案から第3号議案について提案と審議が行われ、全議案とも満場一致で提案どおり承認可決されました。また、2点の報告事項についても確認されました。

- [議決事項] 第1号議案 2019年度事業報告及び決算(計算書類等)承認の件、監査報告
 第2号議案 理事及び監事並びに顧問の報酬等決定の件
 第3号議案 地域生活研究所の今後のあり方について(答申案)

- [報告事項] 1. 2020年度事業計画及び収支予算について
 2. この間の業務執行状況について



定時評議員会は毎年6月に開催していますが、2020年5月18日に内閣府から出された『新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公益法人等の運営に関するお知らせ』に沿って、開催時期を変更し、出席者が一堂に会したと同等に相互に議論できる環境を整えた上でWEB会議の方式を採用して開催しました。

地域生活研究所一般研究助成事業について

2020年度地域生活研究所一般研究助成の応募を9月末に締め切ったところ、11件の応募がありました。広報や応募にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

「2018年度地域生活研究所一般研究助成事業 報告会」は本年6月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を2021年に延期することとしました。開催の日時等が決まりましたら、ホームページやニュース等でお知らせします。

エネルギー研究会 研究成果をまとめた報告論文が刊行されました

家の光出版サービスより全国農業協同組合中央会の編集による『協同組合奨励研究報告 第四十六輯』が刊行されました。同書は平成30年度JA研究表彰奨励事業の助成による研究の成果をまとめたものです。この助成を受けた、エネルギー研究会のメンバーによる研究の成果をまとめた論文「協同組合によるエネルギー事業の特徴とその可能性について—生協による小売電気事業に注目して—」(三浦一浩・手塚智子・増原直樹・山崎求博)が掲載されています。この論文は電力自由化以後の生協の小売電気事業について、5つの生協の事例をもとにまとめたものです。関心をお持ちの方は、研究所までお問い合わせください。(<http://www.chiikiseikatsu.org/access.html> からご連絡ください)



開催報告 公開研究会(公益財団法人 生協総合研究所との共催) (第3期)生協論レビュー研究会から—現在へと続く生協のあゆみの考証—

2020年8月27日(木)に(公財)生協総合研究所と共催で公開研究会「(第3期)生協論レビュー研究会から—現在へと続く生協のあゆみの考証—」を開催しました。なお、感染症対策として、来場とオンライン(zoom ウェビナー)を組み合わせた形式で実施しました。

この公開研究会は生協総合研究所に設置された生協論レビュー研究会の活動の一環として開催されたもので、同研究会の原山浩介座長(国立歴史民俗博物館准教授)の司会のもと、2月に刊行された『(第3期)生協論レビュー研究会<上>(生協総研レポート No.91)』の内容から以下の3本の報告が行われました。



三浦一浩さん

- ・三浦一浩(一般財団法人地域生活研究所)「生協法制定に向けた日本協同組合同盟の動きといくつかの法案の検討 補論:生協法制定後の日本生協連の法改正要求」
- ・石澤香哉子(一般財団法人地域開発研究所)「生協における職員の「参加」にまつわる議論の整理」
- ・鈴木岳(公益財団法人生協総合研究所)「有力流通情報誌上で生協は折々どのように取り上げられてきたか(2)—『販売革新』からよみとく—」

報告後、質問用紙と Q&A を用いた形で質疑応答がなされました。感染症対策による制約のもと、試験的な運営となりましたが、大きな問題はなく閉会することができました。

オンライン開催であったことから、九州や近畿など遠方からの参加もあり、生協をはじめとする協同組合関係者や研究者を中心に45名の参加がありました。

開催報告 まちづくり連続講座 with コロナの今だからこそ始めよう! 1階づくりはまちづくり

2020年9月4日(金)に東京都生協連と共催で、まちづくり連続講座「with コロナの今だからこそ始めよう! 1階はまちづくり」を開催しました。なお、感染症対策として、Google Meet を使ったオンラインでの開催としました。

講師は、田中元子さん(株式会社グランドレベル代表取締役社長)で、リモートで講演していただきました。田中さんが経営している、0歳から100歳まで多様な市民が集う「喫茶ランドリー」の事例から、with コロナの社会でも、楽しく活動をすすめるヒントをお聞きしました。



田中元子さん



アンケートでは、「喫茶ランドリーの立ち寄りやすくする工夫をお聞きし、訪れる人がその作り手にいつでもなれるような雰囲気があることは大切なことだと思いました。」という感想がありました。

まちづくり連続講座では初めてオンラインを使った開催でしたが、44名の参加がありました。詳しくは、東京都生協連ホームページ「まちづくりトピックス Vol.4」をご覧ください。